

# み～たんとお～たんの 防災絵本



みんなの  
大切なものを  
守ろう

お～たん

み～たん

## もくじ

阪神・淡路大震災	2
地震はぐらぐら揺れること	4
おうちが揺れると家具も揺れる	10
何かあれば、安心できる?	16
みんな元気! QQ体操	22



はんしん あわじだいしんさい  
「阪神・淡路大震災」

1995年1月17日 <sup>ひょうごけん</sup>兵庫県で大きな地震じしんがおきました。  
この地震で、6,434人が亡くなりました。  
けがをした人も、たくさんいました。

けがをしたのは、人だけではありません。  
みんなが住むまちも、大きなけがをしました。  
家こわが壊れました。  
道路も壊れました。  
じゃ口から水は出ません。  
電気もつきません。  
食べるものがない人や、お風呂ふろに入れられない人もいました。

この地震には「阪神・淡路大震災」という名前がついています。



大きなけがは すぐには治りません。  
困ったことが たくさんおこります。  
たくさんの人が泣きました。  
はやく治る方法を みんなで考えました。

全国から、みんなが助けに来てくれました。  
ほかの国から助けに来てくれた人もいます。  
みんなで、がんばりました。

こうやってまちのけがは、少しずつよくなりました。  
地震の前より、よくなったこともあります。

でも、治らないものもあります。  
亡くなった人は、もどってきません。  
けがをしたところが、  
動かなくなった人もいます。  
地震の前とまったく同じになることは  
できません。  
地震の前には、もどれないのです。



地震がおこる前にできることは、たくさんあります。  
地震の前にやっておいたことで、けがをしなかった人もいます。

みんなの大切なものを守ることが「防災ぼうさい」です。  
み～たんの大切なものは、自分や家族、友だち、  
そして集めたフィギュア……。  
お～たんにも、大切なものがたくさんあります。  
でも、地震はそんな大切なものを奪うばうかもしれません。  
たくさんある大切なもの。  
地震になんて取られたくない! 負けないぞ!

みんなも、もし大切なものがあるなら、  
それを守る方法を、み～たんとお～たんと いっしょに考えよう!



# じしん 「地震はぐらぐら揺れること」

み～たんとお～たんは、大切なものをどうやって守るか考えました。  
でも、地震のことがよくわかりません。

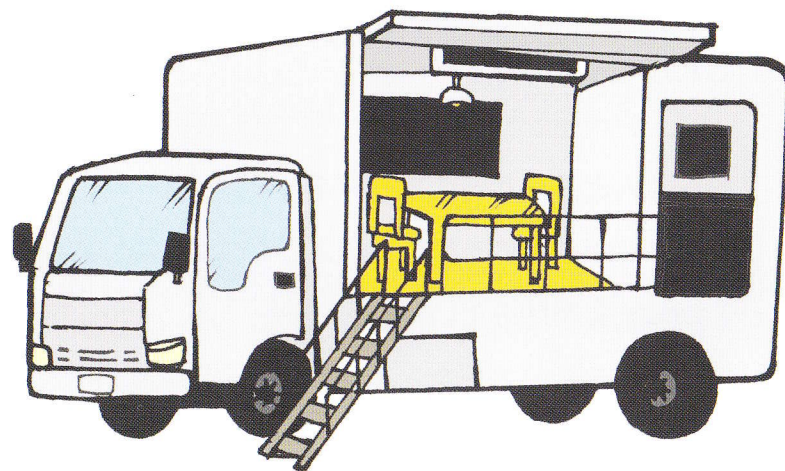
みんなは地震を知っていますか？ どんなものだと思いますか？  
かいじゅう  
怪獣みたいなものでしょうか？

それとも、おばけのようなものだと思いますか？



地震は、地面が突然揺れることです。  
地面が揺れると、おうちも揺れます。  
テレビやたなも、ぐらぐら揺れます。

でもそれは、知らない人にとっては、とても怖いものなのです。  
み～たんとお～たんは、地震を体験するために、  
きしんしゃ  
起震車という車のところに行きました。



起震車という車には、車の上に部屋があります。  
その部屋には机やいすもあります。  
でも壁はなく、部屋の中がよく見えます。  
「あれはだれの家？」  
「これは起震車という車で、地震の揺れが体験できる車なのよ！」



「へえ。すごいね。地震ってたこ焼きみたいに、  
車で売っているんや～。知らなかった～」  
確かに起震車は、たこ焼きや  
クレープを売っている車と似ています。  
でもたこ焼きやクレープを売っている車と違って、<sup>ちが</sup>  
中に入ることができるんです。

み～たんとお～たんの番が来ました。  
ふたりは車の上にある部屋に入っすに座ります。  
「なんか遊園地みたいだね」  
地震を知らないお～たんは楽しみなようです。  
「そ、そう??」  
み～たんはどうやら、ちょっと不安そう。  
係のお兄さんが、声をかけてくれました。

「危ないと思ったら、頭を守って小さくなってくださいね」  
「じっとしておくか、テーブルの下など安全な場所に  
<sup>ひなん</sup>避難してください」

そして、だんだん部屋が揺れてきます。  
ぐらぐら ぐらぐら 揺れてきます。  
「なーんだ、地震ってたいしたことないじゃん」  
「あ、電球がぐらぐらしてきた。ドキドキするぅ～」  
そう言っているうちに、どんどん揺れが大きくなってきました。





ぐらぐら ぐらぐら ぐらぐら ぐらぐら

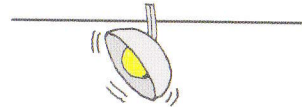
「わわわ……み～たん、こけた～  
お～たんも立ってられへん～」

ぐらぐら ぐらぐら ぐらぐら ぐらぐら

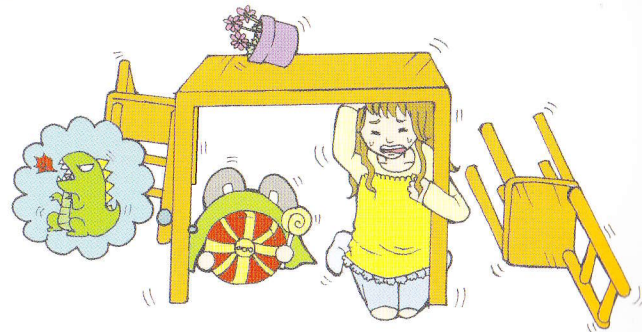
「たすけて————」

「こわい————」

「怪獣がきた————」



ぴたっ



ふたりが叫んでいるうちに、地震の体験が終わったようです。  
ふたりはとっても怖かったようで……

「すごい揺れなんですね。

とても立っていただけませんでした」

「車がものすごく揺れたから、

きっと怪獣が出てきて、

車を持ち上げて、ぐるぐる～って

振り回していると思った」

お～たんは、怪獣が来たと思ったんですね。

地震は突然やってきます。

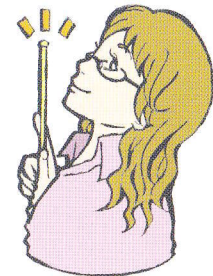
いきなり地面が揺れるのは、とっても怖いもの。

でも、頭を守って、小さくなって、

揺れがおさまるまで、

じっとしていれば、だいじょうぶ。

慌てないことが大切だよ。





## 「<sup>ゆ</sup>おうちが揺れると家具も揺れる」

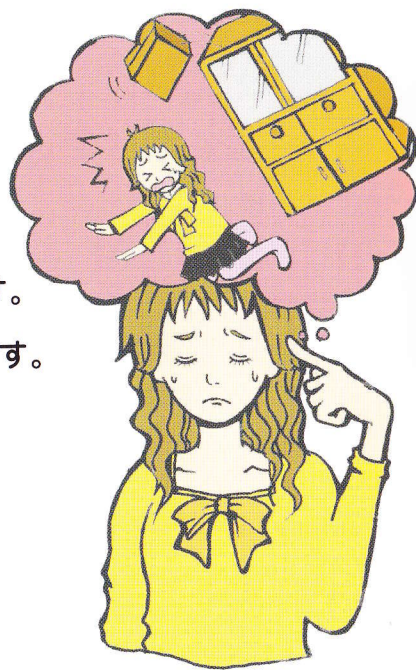
み～たんとお～たんは、大切なものを守る方法を考えています。  
地震じしんがおきたら、地面が揺れることを体験しました。

ぐらぐら ぐらぐら

地面が揺れると、おうちも揺れます。  
おうちが揺れると、タンスも揺れます。  
タンスは倒たおれてこないかな？

タンスは重い。  
タンスは大きい。

み～たんは、ぐらぐら揺れて、おうちのタンスが倒れてこないか、  
少し怖こわくなりました。



でも、み～たんは倒れてこないよう、  
新しい道具を見つけたようです。

み～たんはおうちの家具に、その新しい道具を取り付けました。  
それは、お～たんにはおもしろいおもちゃに見えたようです。

「わー!! み～たんのおうち、公園にある登り棒がたくさんある!  
タンスの上、冷蔵庫れいぞうこの上にも、登り棒。  
はは～ん、み～たんこれでダイエットの運動してるんやな」

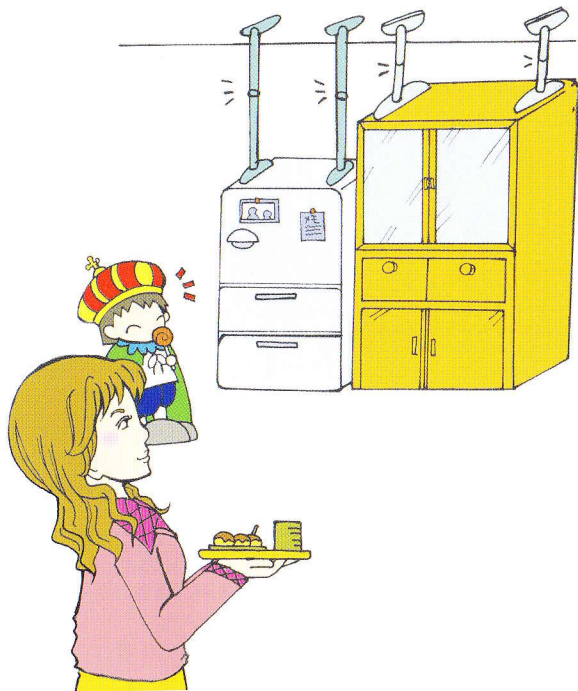
タンスの上に登り棒なんて、  
さすがのみ～たんのおうちにも、  
あるはずがありません。  
お～たんが登り棒と思ったのは、  
み～たんが見つけた新しい道具。



## 家具を固定する「つっぱり棒」

つっぱり棒とは、冷蔵庫と天井の  
てんじょう  
間をつなぐ棒のこと。

これがあると、ぐらぐらおうちが  
揺れたときも、家具をしっかり  
支えることができます。



でも、そんなこととは知らないお～たんは、  
つっぱり棒に登って遊んでいます。

あ、あぶない!!

ど————ん





「何?? 今の音?? 地震??」

「あ、いててて……

み～たん、ぐず……」

あらあら、お～たんは登り棒、  
じゃなくてつっぱり棒から  
落ちてしまいました。

「お～たん、だいじょうぶ?」

「この登り棒、高いところにあるから難しいよお……

もっと低いところに付けてよお」

「これは登り棒じゃなくて、つっぱり棒。

家具が倒れてこないよう、守ってくれる道具だよ」

確かにお～たんが落ちたときも、  
重たい冷蔵庫は揺れません。  
もしも冷蔵庫が揺れて、  
お～たんの上に倒れてきたら……



地震は突然やってきます。

いきなり地面が揺れるかも。

ぐらぐらおうちが揺れることは、  
とっても怖い。

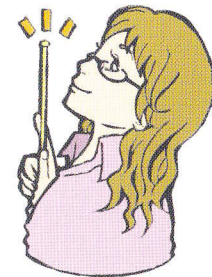
でも、大きな家具が動かないように  
しっかり取り付けたり、  
大きな家具の近くにいなければ  
平気だよ。

家具が倒れてこないようにしたり、置き方を考えたり、

いろいろ準備をしておくと、

突然ぐらぐらと揺れても

安心だね。





## 「何かあれば、安心できる？」

じしん  
地震は、いつおこるかわかりません。

地震や津波つなみといった災害さいがいは突然とつぜんおこります。

地震がおこる時間は決まっています。

もしかしたら、トイレやお風呂ふろに入っているときかもしれません。

はんしん あわじだいしんさい  
阪神・淡路大震災は、朝早くに、おこりました。

たくさんねの人は、まだ寝ていました。

地震でうちが壊こわれて、そのまま避難ひなんをした人もいます。

食べるものがなくて困った人もいます。

突然地震がおこっても、だいじょうぶなように、

みんなは準備しているかな？

準備していると安心だよ。

み～たんとお～たんは非常持ち出し袋ふくろをつくることにしました。



「み～たんは何を入れたの？」

「まだ見ちゃ、だめ」

ふたりは別々に非常持ち出し袋をつくっているようです。

非常持ち出し袋とは、地震や災害がおこったときのために、必要なものを入れておく袋なの。

ふたりは、地震がおこったら、これを持って逃にげるそうです。

お～たんは何を入れたのかな？



「えーっと、さっき買ったたこ焼きの残りと、  
ペロペロキャンデーと、み～たんにもらった人形」

「え？ それだけ～??」

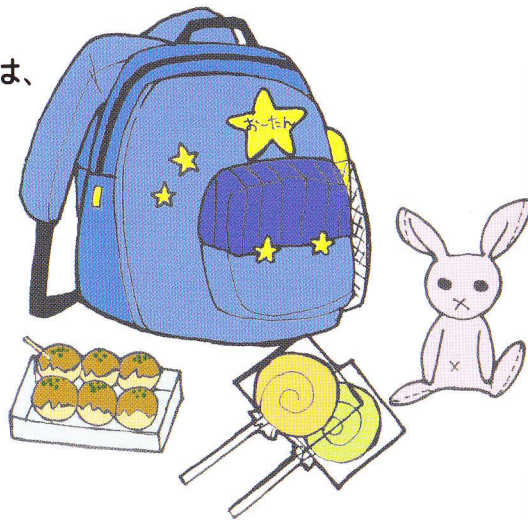
お～たんは非常持ち出し袋が何か知りません。だから、  
いつも食べているものと大切なものを入れました。

「お～たん、たこ焼き、非常持ち出し袋に入れておくと  
<sup>くさ</sup>腐っちゃうよ」

「いいよお、あとで食べるんだから」

「それじゃだめだよ。

非常持ち出し袋っていうのは、  
いつおこるかわからない  
地震のために作るん  
だから。すぐに食べる  
なくなっちゃうよ」



「そっか……じゃあ、み～たんは何を入れたのさあ」

み～たんはとっても自慢げに、自分の非常持ち出し袋を  
見せてくれました。でも、それはとっても重いようで……。

ずるずる、ずるずる、ずるずる……

「ちょ、ちょ～～っと待っててね～。すぐ行くから～」

ずるずる、ずるずる、ずるずるずるずる……

み～たんはとっても大きな袋を持っています。

何が入っているんでしょう？

水、ラジオ、タオル、ウェットティッシュ、<sup>もうふ</sup>毛布、<sup>ぼうし</sup>スリッパ、帽子……。

チョコ! ビスケット! ポテトチップス! クラッカー!

キャンデー、おせんべい、おでんの<sup>かんづめ</sup>缶詰、カップラーメン!!

なんだか食べものが多いですね。



「み～たんの非常持ち出し袋には、  
いつも食べているものばかりやなあ～。  
もっと特別なものを入れると思ってたわ！」

「もちろん長持ちする非常食もあるけど、  
ふだん食べているものもいいじゃない。  
ほら、なんとって好きなものだと、<sup>あ</sup>飽きないし」

「でもこんなにたくさんあって、持っていけるの??」



地震は突然おこります。

いきなり地面が揺れると、何がおこるかわかりません。

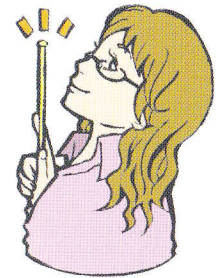
大きな揺れで、もしかしたら、まちが壊れるかもしれません。

まちが壊れると、水も、電気も使えないかも。

いつもと違うのは怖いものだよな。

そんなときのために、必要なものを

準備しておくで安心ですね。



大切なものはたくさんあるけど、

全部を持ってはいけないよ。

本当に大切なもの、

本当に大切なことは何かを考えて、

本当に必要なものが準備できれば、

地震に負けないね。





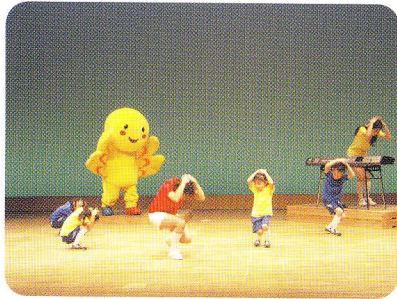
# 体操

## みんな元気! QQ体操 ソング

### 1ばん

123! 123! 123!

がんばるぞ 元気な子 ひとりじゃないんだぞ  
がんばるぞ 元気な子 自分のいのちをまもるんだ  
おおきなものが たおれてきても  
元気百倍 これで大丈夫



### 2ばん

123! 123! 123!

がんばるぞ 元気な子 ちゃんと声だせる?  
がんばるぞ 元気な子 大きな声でよんでみよう

ひとりっきりになっても  
勇気百倍 これで大丈夫



### 3ばん

123! 123! 123!

がんばるぞ 元気な子 みんなは大丈夫?  
がんばるぞ 元気な子 自分のちからを出してみよう

みんないっしょに がんばろう  
強さ百倍 これで大丈夫



### 4ばん

123! 123! 123!

がんばるぞ 元気な子 心を強くもとう  
がんばるぞ 元気な子 みんながいるからへっちゃらだ

どんな時でも 笑顔でいれば  
パワー百倍 これで大丈夫  
パワー百倍 これで大丈夫



※ラジオ関西のホームページ (<http://joor.jp>) で、QQ体操の動画を配信しています。



## み～たんとお～たんの防災絵本について

被災体験をした兵庫県の地元ラジオ局であるラジオ関西では、開局55周年(平成19年度)の記念事業としてオリジナルソング「みんな元気!QQ体操」を制作し、兵庫県下各地の幼稚園や保育園などを訪問し、普及キャラバン活動を実施しています。

この「QQ体操」は兵庫県下の「防災教育」の対象年令を幼児期からとし、母親など保護者とともに“自分・家族・友達・近隣”を守るために役立つオリジナルソングです。体操の実践・普及などを通じ、将来を展望した『災害文化』の育成充実を目指しています。

今回の「み～たんとお～たんの防災絵本」は、このような幼児を対象とした「防災教育」を、お話を通じて広く幼い子どもたちにも理解してもらうために制作したものです。

“み～たん”こと木村三恵はラジオ関西の子ども向け番組“王様ラジオキッズ”のパーソナリティで、毎週日曜日の午後リスナーである子どもたちと一緒に生放送番組をお届けしています。

絵本原作は神戸学院大学の防災・社会貢献ユニットの船木伸江講師、イラスト絵も研究室の学生さんの協力を得ました。

この絵本のお話を通じて、子どもたちに幼いながら防災意識を身につけてもらえることを願っています。

なお、この絵本制作事業は「(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構」と「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しました。

防災絵本キッズプロジェクト委員会  
(株)ラジオ関西

### み～たんとお～たんの 防災絵本

発行 平成21年3月

株式会社ラジオ関西(防災絵本キッズプロジェクト委員会)

神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル7F

〒650-8580

TEL.(078)362-7373

<http://jocr.jp>